

情報連絡員報告を中心とした
県内の中小企業動向
4月

■味噌製造 **【県内全域】**

1月～3月出荷累計は575ト
ンで前年比87%となった。暮れに
値上げを見越しての駆込需要が影
響しているのではないかと。

■めん類製造 **【県内全域】**

昨年度は55年ぶりとなる麦制度
の改正と、それにあわせて24年ぶ
りとなる小麦粉価格の値上げが実
施された(年2回)。石油関連資
材の高騰と共に収益悪化の要因と
なっている。

第二年度目となる今年度は、政
府売り渡し麦価が4月1日に30%
引き上げられ、主原料である小麦
粉価格が4月20日を過ぎてから連
動し値上げされた。2年連続の製
品価格への転嫁で苦闘している。

■繊維製品製造 **【千葉・東京】**

婦人スカート、パンツが全く動
かず、ワンピース関係だけが動い
ている状況。全体的に勝ち組、負
け組みがはつきりしていた。

■製材 **【県内全域】**

在来工法から欧米型の家に変
化、さらに新建材が増加し、国産

材そのものが減少、さらに新築着
工数の大幅減により工務店大工が
苦闘している。

■印刷 **【県内全域】**

昨年は選挙関連の特需があった
が、今年の4月はそれもなく、世
間の景況を反映して盛り上がり
欠けている。

相変わらず価格破壊による安値
競争が激しい。地区の民間企業や
自治体も財政状況が悪いので、ど
うしても価格優先の発注になる。

■生コン製造 **【県内全域】**

前月比微増ではあるが、年度末
としてはきわめて悪い。前年比
74・6%と、年度末としては最低
の水準になってしまった。

■電気鍍金 **【県内全域】**

受注量は前年度比では増、前月
比では不変であるが、原材料の高
騰で先行きが不安。

■鉄工 **【千葉】**

米国景気、円高、原油・原材料
高懸念要因が多く近時の景況感
悪化は著しい。

■機械部品製造 **【野田】**

販売価格の上昇は、資材値上が
りの転嫁分であり、収益状況は依
然厳しい。

■石油製品製造 **【富津他】**

全国的にバイオエネルギーに関
しての動きはあるが、まだまだ先
への見通しは難しい。

■食肉卸売 **【千葉他】**

石油値上げは続く一方で、経営
は悪化の方向へ変化している。

■建築材料卸売 **【県内全域】**

官民共に需要が極端に減り、建
築基準法改正の影響だけでなく需
要回復のメドがたない。

■自動車解体 **【県内全域】**

金属スクラップの高騰により売
上げはやや伸びているものの仕入
れの価格競争が厳しいため、収益
面でも厳しい状況。

■小売 **【柏】**

見切り品を中心に、低価格のも
のが売れているが、消費者の購買
意欲は低い。先行きが不透明。

■小売 **【東金】**

原材料の値上げ等で、価格が上
がっている商品もあり、消費意欲
の減退が売上に影響している。

■小売 **【野田】**

食品原材料価格の急騰を背景に
今春、やむを得ず飲食店が値上げ
に踏み切ったが、客数、客単価と
もに低下し、売上が悪化している。

■小売 **【天網白里】**

悪化している。4月から小売価
格の上昇が多く目に付く(飲食も
含めて)。

食品原材料価格の急騰を背景に
今春、やむを得ず飲食店が値上げ
に踏み切ったが、客数、客単価と
もに低下し、売上が悪化している。

■小売 **【天網白里】**

悪化している。4月から小売価
格の上昇が多く目に付く(飲食も
含めて)。

■電気機器小売 **【県内全域】**

引き続き低調。

■自動車自転車小売 **【県内全域】**

新学期と重なり、売り上げが順
調ではあるが、少子化の影響で台
数の減少は仕方ない。

■農業機械販売整備 **【県内全域】**

穀物をはじめ農産物の国際価格
上昇。

■小売・サービス **【銚子】**

天候が悪く、客足が鈍い。イベ
ントの来街者は増えるが、個店の
売り上げになかなか結びつかない。

■建設揚重 **【県内全域】**

稼働率は地域差が出ているが、
全般的には低迷。

■自動車一般整備 **【柏】**

原油価格の高騰に伴い原材料価
格が上昇し経営を圧迫している。

組合員数の減少(14社)で賦課
金収入が減少。見積もり技術の向
上等、原点に回帰して活動中。

■遊覧船 **【鴨川】**

燃料費の不安定な状況にあり、
なかなかうまく対応できない。

■学習塾 **【県内全域】**

大きな変化はない。ただし、徐々
に大手が中小塾の縄張りに進出し
つつある。個別指導や少人数教室
の展開、それに学力下位層の取り
込みなど。

新年度に入り、塾業界は大きな
変動を遂げるかもしれない。それ
は、昨年度に塾が公立学校へ進出。
また、経済的に苦しい家庭の生徒
に塾費を補助するという東京都の
動きが、今年度どういう形で跳ね
返ってくるのか懸念される。

■土木建築サービス **【県内全域】**

公共事業費の削減と制度改革等
により、年々売上げが落ちている。
組合事業も多くを見込めないた
め、脱退組合員が今後も想定され
る。

■ソフトウェア **【千葉】**

じわじわと悪化が進んでいる。

■貨物運送 **【野田】**

ガソリン税による混乱があり、
厳しい日々になりそう。